



Dow Corning Toray

SE960シーラント

SE962シーラント

建築用シリコンシーリング材

Dow Corning Toray SE960シーラント、SE962シーラント（防カビタイプ）は1成分形アルコールタイプの建築用シリコンシーリング材です。耐久性、耐候性に優れ、JIS A5758の耐久性区分9030に適合します。

■ 特長

1. これまでの1成分形シリコンシーリング材では接着しにくかったプラスチック、塗装アルミに対して、かつてない接着強度を示す新タイプのシリコンシーリング材です。特にポリカーボネート、アクリルへの接着性が優れています。
2. 各種金属、ガラス、タイル、陶磁器等広範囲の基材に対して優れた接着性を示します。
3. アルコールタイプであるため、オキシムタイプに比べて低臭です。
4. 強度、伸びともに高く、強靱で耐疲労性に優れたシーリング材です。
5. 硬化途上のムーブメントによる表面クラックが発生しにくいシーリング材です。
6. JIS A5758 GF25HM 9030 (SR-1) の性能を持つシーリング材です。
7. 混合作業が不要な1成分形であり、作業性に優れています。
8. 有機系弾性シーリング材に比べて、耐候性、耐熱性、耐寒性、耐水性、復元性、耐疲労性に優れています。
9. 幅広い温度範囲で安定した特性を示します。
10. SE962シーラントには防カビ剤が添加されていますので、カビが発生しにくくなっており、カビの発生しやすい水まわり等のシール・接着に最適です。
11. SE960はJWWA規格相当製品です。

※水道用シール剤向けに日本水道協会が定めた規格、JWWA K 142-1997 (水道用耐熱性液状シール剤)、JWWA K 146-2004 (水道用液状シール剤) の試験を自社にて試験を行い規格項目に合格することを確認しています。

■ 用途

SE960シーラント、SE962シーラントは手軽に使える1成分形シーリング材です。カーテンウォールや各種ガラス工法及びプラスチック、塗装アルミ等各種部材に対するシール・充填用途に幅広くご使用いただけます。

■ 建築用シーリング材 SE960、SE962

標準色：ホワイト、アイボリー、グレー、ライトグレー2

SE960のみ：アンバー、ブラック

※但しSE962は、受注後生産品です。

■ SE960のJIS A 5758にもとづく性能試験結果 [SE962も同等の性能です。]

項目	条件	単位	試験結果	判定基準
スランプ(縦)	5±2℃	mm	0.0	3mm以下
	50±2℃		0.0	
スランプ(横)	5±2℃	mm	0.0	3mm以下
	50±2℃		0.0	
弾性復元性	23±2℃	%	97	70%以上
体積損失	—	%	2.8	10%以下

項目	条件	単位	試験結果		判定基準
引張特性 (100%引張応力)	23±2℃	N/mm ²	ガラス	0.8	0.4N/mm ² を超え
			アルミ	0.8	
	-20±2℃		ガラス	0.8	0.6N/mm ² を超え
			アルミ	0.9	
定伸長下での接着性	23±2℃	—	ガラス	異常なし	破壊なきこと
			アルミ	異常なし	
	-20±2℃		ガラス	異常なし	
			アルミ	異常なし	
人工光暴露後の接着性	23±2℃	—	ガラス	異常なし	破壊なきこと
圧縮加熱・引張冷却後の接着性	23±2℃	—	アルミ	異常なし	破壊なきこと
水浸せき後の 定伸長下での接着性	23±2℃	—	ガラス	異常なし	
			アルミ	異常なし	

■ SE960の引張り接着特性 [SE962も同等の性能です。]

項目	条件	50%引張応力	最大引張応力	最大荷重時の伸び	破壊時の伸び
被着体		N/mm ² {kgf/cm ² }	N/mm ² {kgf/cm ² }	%	%
アルミ	養生後	0.45 {4.6}	1.80 {18.4}	496	565
	50℃温水浸漬後	0.43 {4.4}	1.74 {17.8}	505	560
ガラス	養生後	0.45 {4.6}	1.72 {17.6}	454	507
	50℃温水浸漬後	0.43 {4.4}	1.69 {17.2}	417	515
	促進暴露後*	0.45 {4.6}	1.71 {17.5}	413	503
耐久性	9030に合格				

[試験体] JIS A 1439引張接着性試験体 [使用プライマー] アルミ、ガラス共になし [引張速度: 50mm/分、温度20℃]

*サンシャインカーボンウェザーメーター1000時間暴露後

■ 防カビ性 [SE962]

①試験方法

JIS Z 2911に準ずる

②使用菌種

Aspergillus niger (第1群)、
Penicillium citrinum (第2群)、
Rhizopus nigricans (第3群)、
Cladosporium cladosporioides (第4群)、
Chaetomium globosum (第5群)

③試験結果

処理方法	表示*
養生後	0
キセノンウェザーメーター照射後(200hrs)	0

*表示0とは、試験体または試験片を摂取した部分に菌糸の発育が認められない。

■ 設計許容伸縮率

	SE960	SH780(参考)
引張 (M1)	20	(10)
	(M2)	(15)
圧縮 (M1)	20	(10)
	(M2)	(15)
せん断 (M1)	30	(20)
	(M2)	60

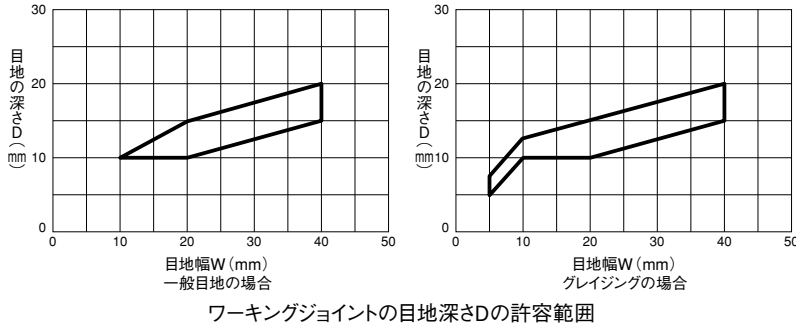
注) M1: 温度ムーブメント、M2: 風、地震等によるムーブメント
(): ガラスまわり 目地の場合

■ 目地設計

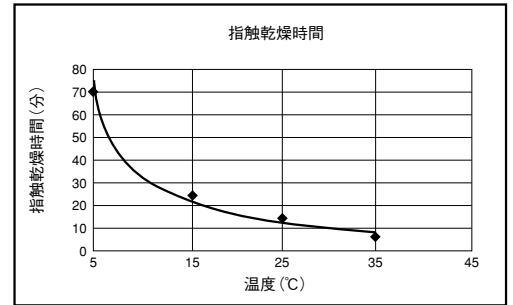
目地設計はJASS8(日本建築学会建築工事標準仕様書 防水工事)および「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針」に準拠して行って下さい。

■ 目地深さの設定

下図の範囲での設計をお勧めします。



■ SE960、SE962の表面硬化性

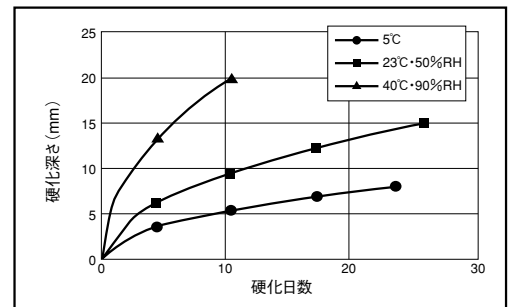


■ SE960、SE962の接着性 (プライマーなしのデータです。)

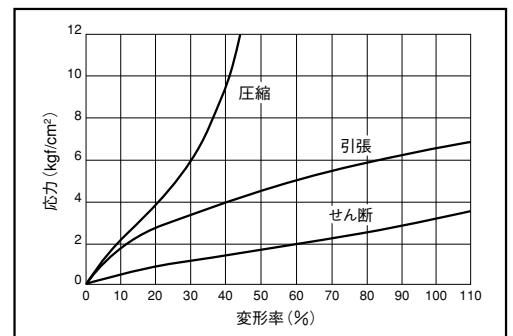
被着体		初期	温水
ガラス質	フロートガラス	○	○
	熱線反射ガラス	○	○
	タイル	○	○
金属	ステンレス	○	○
	アルマイト	○	○
	電解着色アルミ	○	○
塗装アルミ類	ウレタン塗装	○	○
	焼付アクリル(デュラクロン)	○	○
	常乾ウレタン塗装(Vトップ)	○	○
	焼付ウレタン塗装(Vクロマ)	○	○
	アクリル電着	○	○
	焼付フッ素塗装	○	○
	フッ素電着	○	○
プラスチック	ポリカーボネート(旭硝子製、レキサン9034)	○	○
	ポリカーボネート(タキロン製、PC1600)	○	○
	ポリカーボネート(筒中プラスチック製、ポリカエース)	○	○
	ポリカーボネート(三菱プラスチック製、ユーピロン)	○	○
	アクリル(三菱レイヨン製、アクリライト001)	○	○
	PBT	○	△
	ABS	○	○
	PET	○	○
	HIPS	○	○
	塩ビ鋼板	○	○
	硬質塩ビ	○	○
	FRP(ポリエステル系)	○	○
	FRP(エポキシ系)	○	○
SMC	○	○	
ポリスチレン	○	○	
人工大理石(アクリル系)	○	○	
その他	木材	○	○
	モルタル	○	○

○…十分な接着力が得られる △…応接着するが十分でない
 初期：室温/7日 温水：室温7日+温水7日

■ SE960、SE962の深部硬化性



■ SE960、SE962の変形率と応力の関係 (JIS A 1439耐久性試験体における変形率と応力の関係)



注1) メーカー、品種などによって、配合、製造方法、表面仕上げが異なるような材質に対しては、必ずしも当てはまらないことがあります。

そのような場合には、あらかじめ接着テストを行うことをお勧めします。

注2) 接着信頼性と耐久性を向上させるため、被着体に合ったプライマーを使用することをお勧めします。

●金属・ガラス質プライマーD-3 (プライマーD) ●多孔質プライマーB

注3) EPT(EPDM)、クロロプレン系のガスケットとの取り合いでは、シーリング材が変質(接着不良、変色、軟化)することがありますのでご注意ください。

■ 使用方法

● 施工手順はシーリング材ハンドブック、JASS 8および「外壁接合部の水密設計および施工に関する技術指針」に準拠してご使用下さい。夏場などで高温の被着体(特に暗色)に施工すると、膨れ・発泡などの不具合が生じる恐れがありますのでご注意ください。また、目地深さは5mm以上確保して下さい。

● プライマー

確実な接着を実現するためにガラス・金属・多孔質類に関しては、プライマーを必ずご使用下さい。また、必ず事前に同材料を使い接着性をご確認下さい。代表的なプライマーは下表の通りですが、詳しくはプライマーのカatalogをご覧ください。

なお、プライマーの選定でご不明な点は当社までお問い合わせ下さい。プライマーが十分乾燥してから、シーリング材を打設して下さい。

被着体	プライマー
ガラス・金属・金属塗装面	プライマーD-3, プライマーD
コンクリート*	プライマーB

*長時間水濡れ状態が続くような用途の場合は、エポキシ樹脂によるコーティングをお勧めします。

■ 保存

雨掛かり、直射日光を避け乾燥状態で室温(25℃)以下で保管して下さい。また、プライマーの保存については、完全密閉し湿気に触れないようにご注意ください。

■ 有効期間

製造後12ヶ月(製造年月日はカートリッジに表示してあります。)

■ 使用上の注意事項

- 被着体が清浄かつ乾燥した状態でシーリング材を施工して下さい。
- 打設してから1日以内に雨掛かりすると表面荒れ、硬化不良の原因となりますので、雨水のかからないように養生して下さい。
- 硬化中に目地に大きな動きが加わると、表面のシワや内部クラック等の欠陥を生じることがあります。

● 石目地、スレート目地等の外壁目地に使用した場合、目地周辺に汚染を生じることがあります。美観を重視される場合は事前に当社へご相談下さい。

● エアガン使用の場合は、0.3MPa(3.0kgf/cm²)以下でご使用下さい。高圧で使用すると、シーリング材が突出したり、カートリッジが破裂する危険があります。

● バックアップ材・防水シート等にEPT(EPDM)、クロロプレン系のゴムを使用される場合には、接触によりシーリング材が変質(変色、接着不良、軟化)することがありますのでご注意ください。事前確認をお勧めします。

● 未硬化、硬化途上のオキシム型シーリング材を打ち継ぐと変色しますのでご注意ください。

● 未硬化、硬化途上の本シーリング材にオキシム型シーリング材を打ち継ぐと変色しますのでご注意ください。

■ 安全・衛生上の注意事項

● 直接火の当たる部分には使用しないで下さい。不燃材ではありませんので、不燃性が要求される部位には使用しないで下さい。

● 高温に連続してさらされる用途には不適です。(上限目安: 120℃)

● 換気の不十分な場所では目鼻を刺激したり、吸い込みによる障害の起こる恐れがあります。十分に換気された場所でご使用下さい。

● プライマーは引火性溶剤(消防法危険物第4類)を多量に含んでいます。火気には十分ご注意ください。

● 未硬化のシーリング材が皮膚に付着した場合は、直ちに拭き取り、水・石鹸で十分洗って下さい。

● 目に入った場合は直ちに流水で(15分以上)洗い流し、医師の診断を受けて下さい。

● 使用に際し必要な安全情報は本技術資料には記載されていません。ご使用前に、製品安全データシート(MSDS)およびパッケージまたはパッケージのラベルに表示されている注意書きをよく読んで、使用上の安全をはかってください。製品安全データシート(MSDS)は代理店または担当営業にご依頼ください。

ご注意

ここに掲載する情報およびデータは弊社が信頼できると確信する資料にもとづいて作成しましたが、ご使用に際しては貴社のご使用条件にて事前に十分な試験を行なういただき、貴社のご満足できる性能、効果の有無を必ずご確認ください。ここでご紹介する使用方法、用途などは、いかなる特許をも侵害しないことを保証するものではありません。弊社製品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療および医薬用途向けには試験されておりません。医療用途には使用しないでください。また、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないでください。安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認のうえ、使用の可否をご判断ください。弊社の都合により本資料の内容を変更することがあります。また新製品、用途の開発によりカタログ・技術資料の改版を行なう場合がありますので随時ご請求ください。 ※このカタログのデータ類は規格値ではありません。

東レ・ダウコーニング株式会社

〒100-0005東京都千代田区丸の内1-1-3 (AIGビル) <http://www.dowcorning.co.jp>
お問い合わせ: テクニカルインフォメーションセンター ☎(0120)77-6278

DOW CORNING

We help you
invent the future.™

TORAY

Dow Corning Toray Co., Ltd.

取扱店

We help you invent the future!は、Dow Corning Corporationの商標です。



2009年3月改訂 30W.1W
2005年8月初版 30W.1T